

ホットニュース

牛個体識別情報（飼養頭数、と畜頭数等）の公表について ～牛個体識別全国データベースの有効活用～

独立行政法人家畜改良センター 個体識別部 個体識別情報課 青木 正明

（独）家畜改良センター（以下「センター」という。）では、「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法（平成15年法律第72号）」（以下「牛トレーサビリティ法」という。）に基づき、日本で飼養されるすべての牛について、管理者等から届出された牛の出生・異動情報（以下「牛個体識別情報」という。）を牛個体識別全国データベース（牛個体識別台帳）に記録しており、これまでに約1,447万頭（平成20年12月31日現在）の情報を保存しています。

これら牛個体識別情報を牛トレーサビリティ法に基づくインターネットでの公表に限らず、牛個体識別情報をもとに全国の種別・性別・月齢別の飼養頭数、と畜頭数及び出生頭数を集計し、年1～2回ホームページで公表しています。

センターでは、昨年度、牛個体識別情報の利用拡大等を図るためのアンケート調査を実施し、このアンケート調査結果等を踏まえ、平成21年1月から試行的に毎月、全国の種別・性別・月齢別の飼養頭数

及びと畜頭数（速報値）を集計、公表していましたが、平成21年4月以降は、以下（図）のとおり、飼養頭数、と畜頭数、出生頭数に加え飼養施設数、輸入頭数、死亡頭数についても集計するとともに、また、全国のデータだけでなく都道府県別及び市区町村別のデータも集計し、定期的（毎月又は年1回）にホームページ（<https://www.id.nlbc.go.jp>）で公表することといたしました。これにより、肉用牛出荷予測や生乳生産予測等、その活用の範囲が拡大されるなど、牛個体識別情報が有効に活用されることを期待しております。

なお、これら公表するデータは、牛の管理者等から届出された情報をもとに集計したものです。届出を行う牛の管理者等の皆様方には、迅速で正確に、出生、異動及び死亡等の届出を行っていただくようご協力をお願いします。

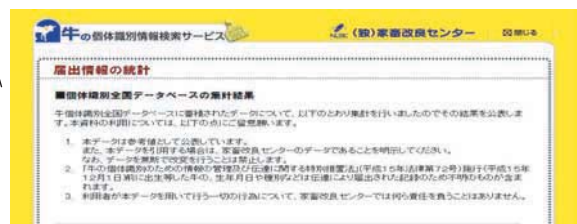
（あおき まさあき）

牛個体識別情報（飼養頭数、と畜頭数等）の公表について

①「牛の個体識別情報検索サービス」をクリック！



②「届出情報の統計」をクリック！



公表する集計データ（平成21年4月以降）

- 飼養頭数 全国及び都道府県別の種別・性別・月齢別（毎月）
市町村別の種別（年1回）
- 飼養施設数 全国及び都道府県別の種別（毎月）
市町村別の種別（年1回）
- と畜頭数 全国及び都道府県別の種別・性別・月齢別（毎月（速報値）・年1回）
- 出生頭数 全国及び都道府県別の種別・性別（年1回）
- 死亡頭数 全国及び都道府県別の種別・性別・月齢別（年1回）
- 輸入頭数 全国及び都道府県別の種別・性別・月齢別（年1回）

※赤字が拡充する内容